NPO法人放射線教育フォーラム

2021年度第3回勉強会

（2022年2月27日（日）13:30～16:00 オンライン開催）

[テーマ] 放射線の理解を深めるための授業について考える

[目的]

中学校において今年度から実施されている新学習指導要領に基づく放射線の授業では、放射線に

関する基礎的事項の説明にとどまらず、放射線への興味を喚起するための授業も求められてい

る。今回の勉強会では、放射線への理解を深めるため放射線利用の例として、がんの放射線治療

法として注目を集めているホウ素中性子捕捉療法の講演、及び、これからのデジタル社会を支え

る半導体の微細加工への放射線利用についての講演を用意する。また、中学校の理科授業で現在

使用されている５社の教科書における放射線やエネルギー資源に関わる記述について、その変遷

を踏まえた話題を提供してもらう。

[プログラム]

開会挨拶（13:30～13:40）工藤博司理事長

講演１．ホウ素中性子捕捉療法 (Boron Neutron Capture Therapy : BNCT)

－がん細胞選択的放射線療法の魅力と展望そして課題を語る－（13:40～14:20）

小野公二（大阪医科薬科大学 BNCT共同臨床研究所）

我が国では世界に先駆けてBNCT用加速器中性子照射システムとBNCT用ホウ素薬剤を開発した。

現在、BNCTは保険適用ともなり、世界の研究と臨床を先導している。講演では今に到る歴史、

現状そして未来を展望する。

講演２．デジタル社会を支える超微細加工への放射線利用（14:20～14:50）

山本洋揮（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所）

半導体リソグラフィの露光源の波長がはじめて電離放射線領域に入り、量子ビームの産業利用

は大きな展開を迎えている。本講演では、デジタル社会を支える半導体産業における放射線の利

用の重要性について紹介する。

休憩（14:50～15:00）

講演３．放射線・エネルギー資源に関する中学校理科の教科書（5社）の記述の比較

－平成24年度版からの変遷も踏まえて－（15:00～15:30）

羽澄大介（名古屋市立西前田小学校）

現在出版されている中学校理科の教科書について、放射線・エネルギー資源に関する観 点を示

した上で、出版社の違いという横軸、出版年度の違いという縦軸で比較する。それを基に教科書

について考える。

意見交換（15:30～15:55）

閉会挨拶（15:55～16:00）田中隆一事務局長

開催方法：Zoomによるオンライン開催

参加申込：NPO法人放射線教育フォーラムのホームページから申し込んで下さい。

　　　　　URL：https://www.ref.or.jp/

定　員　：１００名

参加申込期日：2022年2月21日（月）17：00(ただし定員に達し次第締切)

参加費　：① NPO法人放射線教育フォーラム会員　無料

② 会員外の参加者　無料　事業継続のため、心ある皆様の支援を期待します。

　　　　　　　支援金1口1000円（任意）

　　　　　　　支援金の振込先　ゆうちょ銀行

＊郵便局に備え付けの「払込取扱票」を利用下さい

口座記号・口座番号　：　「00270-8-75249」 と、

加入者名　　　　　　：　「 ＮＰＯ放射線教育フォーラム」です。

＊ゆうちょダイレクト利用可能な方　次の送金先を利用下さい

口座の記号番号　　　：　「00270-8-75249」と、

口座名　 　　　　　 ：　「トクヒホウシャセンキョウイクフォーラム」

　　　　　　　2月24日までにお振込み下さい

問い合わせ先　：NPO法人放射線教育フォーラム事務局

[enry@ref.or.jp](mailto:enry@ref.or.jp)

以上